

(新規・完成・主要)事業箇所(直轄・補助)事業

こまき  
古牧地区 土地利用一体型水防災事業の完成  
ながの なかの  
長野県中野市

災害に強い安全・安心な国土の実現


**事業の概要**  
千曲川の立ヶ花狭窄部下流は無堤地区が存在し、昭和56年、57年、58年と連続した大出水では、浸水被害が生じているため、無堤地区における浸水被害を防止するために堤防の整備を進めています。  
古牧地区は無堤地区であり、平成16年10月20日の台風23号出水、平成18年7月18日の出水において浸水被害が発生したため、早期に再度災害防止を図る必要があったことから、平成20年度に土地利用一体型水防災事業の採択を受け輪中堤を整備を進めています。  
なお、中野市では土地利用一体型水防災事業の実施にあたり平成20年5月に、建築基準法に基づく災害危険区域の指定を行っています。

**整備効果**  
平成16年10月20日の台風23号出水、平成18年7月18日の出水で浸水した古牧地区において、宅地浸水被害の解消を図ります。


**事業着手**  
平成20年度

**平成22年度の事業内容**  
輪中堤を整備し一連の区間を完成させます。

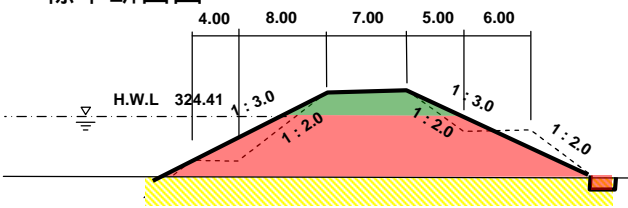
**位置図**



**平成18年7月18日浸水状況**



**標準断面図**



**平成18年7月18日出水状況**

(新規・**完成**・主要)事業箇所 (直轄・補助)事業

浦川<sup>うらかわ</sup>床固工群の完成  
長野<sup>ながの</sup>県小谷<sup>おたり</sup>村

災害に強い安全・安心な国土の実現

事業の概要

浦川流域には、明治44年8月の稗田山大崩壊時に発生した大量の崩壊土砂が現在も大量堆積し、大雨等により土石流となって下流に流出し、下流部に被害を発生させています。また、当該流域は河床変動が著しく、局所的な河床低下や河岸侵食が見られます。

現在、浦川下流第6号砂防えん堤間～浦川スーパー大暗渠砂防えん堤間では、河床低下傾向が著しく、河岸侵食による斜面崩壊や既存護岸の根固め流失等の被害が発生しています。

このまま放置した場合、河床低下の進行により、河岸侵食が進行し、斜面崩壊が拡大する恐れがあることから、当該箇所に床固工群を整備し、河床の安定並びに斜面の安定を図るものです。

整備効果

河床の安定を図ることにより、下流の集落が土石流等の土砂流出による被害から保全します。

事業着手

平成20年度

平成22年度の事業内容

床固工群の整備を完成させます。



浦川床固工群全景



姫川流域図



浦川下流6号砂防えん堤より下流を望む  
(平成21年8月撮影)

(新規・完成・**主要**)事業箇所 (直轄・補助)事業

ちくまがわちゅうりゅういき

千曲川中流域 自然再生事業の整備推進

ながの ちくま  
長野県千曲市他

人をひきつけるゆとりといやしにあふれる暮らしの充実

事業の概要

千曲川中流域では、砂利採取等の河道掘削に伴い河床が大きく低下し、高水敷の固定化と冠水頻度の減少などにより、礫河原やヨシ群落等の湿性植物群落が減少し、アレチウリ、ハリエンジュなどの外来種が急激に侵入・拡大しています。

このため、高水敷を掘削等して高水敷の冠水頻度を高めることにより、砂礫河原やヨシ・ヤナギなど千曲川本来の水辺環境の保全・再生を図ります。

整備効果

砂礫河原やヨシ原等を再生することにより、多様な生物の生息環境が形成されるほか、アレチウリ等の侵略的外来種の繁茂の抑制、並びに樹林化の防止が期待されます。

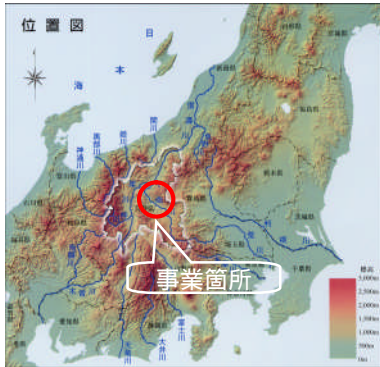
事業着手

平成16年度

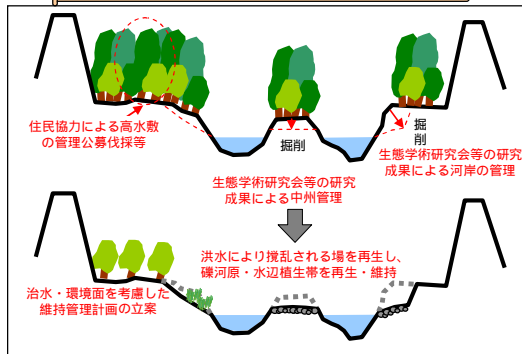
平成22年度の事業内容

戸倉地区において、河道掘削を推進します。

位置図



河道掘削による外来種対策効果イメージ



戸倉地区河道掘削



(新規・完成・**主要**)事業箇所(直轄・補助)事業

はちえもんさわじょうりゅう  
**八右衛門沢上流床固工群の整備推進**  
ながの まつもと  
**長野県松本市**

災害に強い安全・安心な国土の実現

**事業の概要**

八右衛門沢は渓流内に多くの不安定土砂を抱えていることから、平成20年8月発生した2度に渡る局所的集中豪雨により、八右衛門沢では土砂流出が発生し、県道上高地線に掛かる橋梁部では河床に土砂が堆積することで、越水の危険性が高まる事態が発生した。そのため、緊急的に土砂流出対策を講じるべく、発生源対策として上流床固工群を整備します。

**整備効果**

渓流内の不安定土砂の再移動を防止するとともに、上流からの流出する土砂を捕捉し、景勝地「上高地」を訪れる年間160万人の観光客や宿泊施設等を土砂災害から守ります。

**事業着手**

平成21年度

**平成22年度の事業内容**

床固工の整備を推進します。



位置図



平成20年8月19日発生